

北ア「一般登山道」完全踏破

2015年10月9日 市民タイムス掲載

第3345号 (昭和46年12月3日第三種郵便物認可) 日刊第14477号

市民タイムス 東筑・北安

発行所 市民タイムス:本社 〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL(0263) 47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755 ©市民タイムス2015年
FAX(0263) 47-2422 編集47-1654 広告47-8585 販売48-2422 支社:安曇野・信濃 支局:長野・木曾

東筑・北安報道室 〒390-8539松本市島立800
TEL(0263) 47-7774 FAX(0263) 47-1654

北アの登山道 完全踏破

松川村板取の赤沼健治さん(70)がこのほど、地図に載っている北アルプスの一般登山道をすべて踏破した。40歳の時から30年かけて達成した。一時期、突発性難聴で両耳の聴力を失った上、体力低下にも悩まされたが、気持ちを奮い立たせて自分に目標を課して達成させた。

(北原 哲)

松川村の赤沼健治さん

登山者の多くが携帯する昭文社の「山と高原地図」で一般登山道とされている道をすべて歩いた。「日本百名山」や「甲信越百名山」のすべてに登頂したことから、新たな挑戦として思いついた。登山口が複数で山頂までのルートがいくつもあったり、同じルートでも尾根道や谷道など登山道が分岐したりする山も多いが、地図を塗りつぶしながら漏れがないようにして、残ったルートは機会をあらためて歩くようにしてきた。

ルートが複雑に入り組んでいる富士山の鷲母と立山を中心にする山域が最後に残り、「70歳を節目に絶対今年に終わらせよう」と決意し、9月に3回の登山をして完了させた。

赤沼さんは56歳の時に右

病乗り越え 30年かけ達成

耳が突発性難聴となり、2年後に左耳も聞こえなくなった。60歳で人工内耳の手術を受けて補聴器を付けたが、雨や汗で故障してしまふことがあり、補聴器を外して登山することも多い。落石や落雷の音が聞こえないことから細心の注意を払って行動してきた。水場には水があるかなど、登山途中に通りがかりの人から情報を得られないのにも苦労した。赤沼さんは「大きなけがもなく、達成できたのが何よりもうれしい」と笑顔で話している。



北アルプスの一般登山道をすべて踏破した赤沼さん

北ア「一般登山道」 10年がかりで踏破

松川村の赤沼さん「達成でき感激」



歩いた道を蛍光ペンで
なぞった北アルプスの
地図を広げる赤沼さん

松川村板取の赤沼健治さん(70)が、大手出版社の北アルプスの地図に載る「一般登山道」を歩き切るという挑戦を約10年がかりで成し遂げた。30年ほど前に登山を始め、これまでに「日本百名山」「信州百名山」の全てに登頂。体力の衰えなどを理由に本格的な登山は来季以降は控えるつもりで、「最後に自ら掲げた目標を達成できて感激」と喜んでいる。

赤沼さんは、昭文社(東京)の「山と高原地図」で実線で示された道を「一般登山道」と定める。子どもの頃から身近だった北アルプスの全ての登山道を歩こうと決め、6〜10月の夏山シーズンに入山を繰り返し、64歳で再就職してからは休日が少なく、体力の衰えも感じて諦めようとしたことがあった。しかし、3年前に退職して時間に余裕ができたため、「最後までやり抜こう」と奮起。9月29日から10月1日にかけて、最後に残った富山県の立山周辺の登山道を歩いて、念願をかなえた。

赤沼さんは「同じ北アでも、歩く登山道によって全く異なる景色が楽しめる」と強調する。「また歩いたことのない道を歩いてみたい。そういう探求心があった」と自らの挑戦を振り返った。

北アルプス 信州松川村 赤沼健治

全一般登山道踏破達成

2015.10.1 (一越~東越~平今くるよん)